

フラディア/ディアターンシリーズの操作方法

【前向きに回転できない時】

・背もたれ角度が2段目（後向き角度）の状態の前向きに回転操作している可能性があります。

※背もたれ角度が2段目（後向き角度）の状態の前向きに回転操作をすることはできません。



ここが接触します。

※誤使用を防ぐために、背もたれ角度が2段目（後向き角度）の状態では、前向きに回転ができない仕様になっております。前向きに回転する場合は必ず1段目まで背もたれを上げてから回転操作を行ってください。

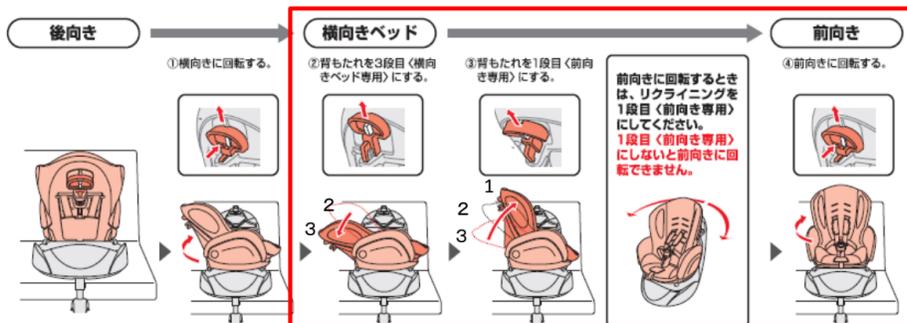
1. 本体を横向きに戻してください。（このときは後向き角度の2段目の状態です）

2. 次に本体の背もたれを、3段目（ベッド状態）まで下げてください。

※3段目（ベッド状態）まで下げてから背もたれを上げる操作をされた方がわかりやすいと思います。

3. 3段目（ベッド状態）から2段目（後向き角度）→1段目（前向き角度）まで上げてください。

の中の横向きベッド→前向きまでの流れで操作してください。



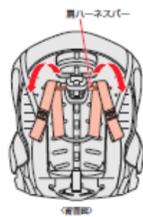
【背もたれが1段目に上がらない時は・・・？】

★下記2点を再度ご確認ください。



★肩ハーネスが肩ハーネスバーに通っている（ひっかかっている）ことをご確認ください。肩ハーネスバーへ通っていない場合は、下記をご覧ください、バーへ通して（ひっかけて）ください。

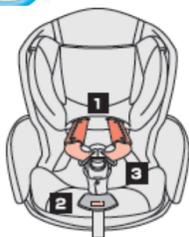
- ① 左右の肩ハーネスを肩ハーネスバーに通す。
- ② 肩ハーネスをジョイント金具に差し込む。



※肩ハーネスが肩ハーネスバーにひっかかっていない場合、肩ハーネスが締めすぎたり、ジョイント金具が本体の下に入り込み故障の原因になりますので、ご注意ください。



★肩ハーネスの調節が締めすぎでないこと。肩ハーネスが締めすぎている場合は、下記の方法で肩ハーネスをゆるめてください。



1 肩パッド



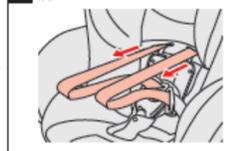
ホックを外す。

2 調節レバー



押し込んだ状態で、

3 肩ハーネス



手前に引き、ゆるめる。

※肩ハーネスが締めすぎている場合、リクライニング操作ができず、背もたれが1段目に上がらない場合があります。